

日本手話における話題化

磯部大吾

(香港中文大学手話言語学&ろう者学センター)

「話題化」(topicalization)は言語学の文献において広く取り上げられる研究テーマである。「話題」(topic)とは、文において陳述の中心的な存在をなすものであるが、これに関わる文構造にはさまざまなものがある。主題化はそのひとつであり、他に、左方転位(left dislocation)、張り出し主題(hanging topic)などがある。そのように、「話題」を表現する基本的な構造、表現方法、およびそこに生ずる制約は言語により多種多様であるが、話題化という機能そのものは世界のほとんどすべての言語に見られるものである。手話言語にももちろん話題化構文がみられ、アメリカ手話(ASL)、イスラエル手話(ISL)、イギリス手話(BSL)、そして香港手話(HKSL)など、さまざまな手話言語についてよく研究されている。本研究では日本手話(JSL)に話題化構文があるかどうかをテーマとしており、日本手話の話題化構文に関する予備調査である。ここでは、日本手話においては、話題化構文が数例しか見られなかったことを示す。